水稲用 中・後期 除草剤

農林水産省登録
第24285号

白く枯らす
CYRA®
サイラ

AVH-301

# ルナクロス®

## 1キロ粒剤

魔法のように白くなる

三井化学グループ

三井化学クロップ＆ライフ
ソリューション株式会社

水稲用 中・後期 除草剤

# ルナクロス® 1キロ粒剤

農林水産省登録 第24285号　除草剤分類 33,27

有効成分：サイラ（シクロピリモレート）……2.0%
テフリルトリオン……3.0%

人畜毒性：普通物※　※「毒物および劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

ルナクロス、CYRA、サイラは三井化学クロップ&ライフソリューション（株）の登録商標、CYRA、サイラはシクロピリモレートのブランド名です。

## 特長

- サイラ×テフリルトリオンの相乗効果による**強力な白化作用**で、**高葉齢の雑草**に対して高い枯殺力と残効が期待できる、新しいタイプの中・後期除草剤です。
- **オモダカ☆、コナギ☆、ミズアオイ☆**に特に高い効果を発揮し、**クログワイ、ホタルイ☆**等のカヤツリグサ科雑草にも高い効果を示します。
- **イボクサ、クサネム**等の特殊雑草にも有効です。
- 湛水散布、**ごく浅く湛水して散布**のどちらも可能です。
- ごく浅い湛水状態で、雑草が発生する箇所への**部分散布**が可能です。

☆ALS阻害剤に抵抗性のオモダカ、コナギ、ミズアオイ、ホタルイ等に対しても高い効果を示します。

## コナギに対する効果

2019年 三井化学クロップ&ライフソリューション㈱社内試験（埼玉県）
薬剤処理：7月14日（コナギ心形葉3葉期）

## 適用雑草と使用方法

2024年12月11日現在

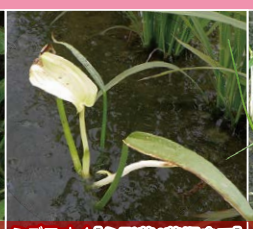
| 作物名 | 適用雑草名 | 使用時期 | 10アール当り使用量 | 総使用回数* | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 移植水稲 | 一年生雑草（ノビエを除く）<br>オモダカ、ホタルイ、クログワイ<br>ウリカワ、ミズガヤツリ<br>ヘラオモダカ、シズイ | 移植後14～60日<br>ただし、収穫45日前まで | 1kg | 本　剤 1回<br>シクロピリモレート剤 2回<br>テフリルトリオン剤 2回 | 湛水散布、<br>ごく浅く湛水して散布<br>又は<br>無人航空機による散布 |
| 直播水稲 | 一年生雑草（ノビエを除く）<br>ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ | 稲3葉期～出芽後60日<br>ただし、収穫45日前まで | | | |

＊印は収穫物への残留回避のため、本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

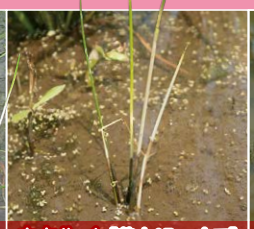
## 各種雑草の白化の様子と散布適期（移植水稲の場合）

オモダカ【矢尻葉5葉期まで】

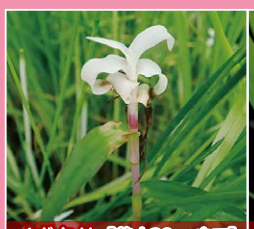
コナギ【心形葉3葉期まで】

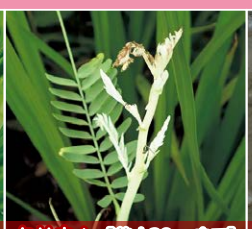

ミズアオイ【心形葉1葉期まで】

クログワイ【草丈15cmまで】

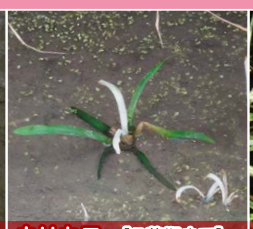

ホタルイ【草丈15cmまで】

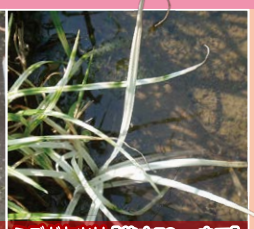
シズイ【草丈20cmまで】


イボクサ【草丈20cmまで】


クサネム【草丈20cmまで】

アゼナ【草丈10cmまで】


ウリカワ【7葉期まで】


ミズガヤツリ【草丈30cmまで】

●水稲に白化症状が認められる場合がありますが、その後は正常な葉が伸展してくるので生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。

★ノビエには効果が劣るため、ノビエに有効な除草剤との体系で使用して下さい。

### 【使用上の注意事項】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 一年生雑草のうちノビエには効果が劣るため、ノビエに有効な移植または は種前後の除草剤との体系で使用してください。
- 生育期に入った雑草に効果がありますが、特に多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。オモダカは矢じり葉5葉期まで、ホタルイ、クログワイは草丈15cmまで、ウリカワ（移植水稲）は7葉期まで、ウリカワ（直播水稲）は5葉期まで、ミズガヤツリ（移植水稲）は草丈30cmまで、ミズガヤツリ（直播水稲）、シズイは草丈20cmまで、ヘラオモダカはヘラ葉2葉期まで、また、一年生雑草のイボクサ（移植水稲）、クサネム（移植水稲）は草丈20cmまで、アゼガヤ（移植水稲）は草丈10cmまで、ミズアオイ（移植水稲）は心形葉1葉期までが本剤の散布適期です。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めてごく浅い湛水または通常の湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、止水期間中の入水は静かに行ってください。本剤を浅水で散布した場合、その後の自然落水により田面が露出する期間が長引くと効果にフレが出るおそれがあるため、散布後7日以内に再入水してください。
- 本剤をほ場内の雑草が発生する箇所を対象に部分的に散布する場合は次の注意を守ってください。
  ①ごく浅い湛水状態のまま雑草発生部およびその周縁部1m程度を含めた部分に、散布する面積に応じた使用量（1m²あたり1g）を均一に散布してください。
  ②散布後3日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選んで使用してください。また、散布後3日以内の再入水はしないでください。
  ③同一水田内で複数箇所散布を行う場合は、散布箇所が重ならないようにしてください。
  ④本剤の使用回数については、散布部分に関わらず水田全体で1回と見なすため、同一水田内で複数箇所散布を行う場合は同日中に散布してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
  ①散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
  ②散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
  ③事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整してください。
  ④散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう注意してください。
  ⑤水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように散布してください。
- 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので、使用をさけてください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を使用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 補植は必ず散布前に行ってください。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
  ①砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm/日以上）
  ②軟弱な苗を移植した水田
  ③極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
- 処理後著しい高温が続く場合には、稲にクロロシスを生じる場合がありますが、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- 空袋等はほ場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しないでください。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、水管理を適正に行ってください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

○使用前にはラベルをよく読んでください。　○ラベルの記載以外には使用しないでください。　○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。　○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。　○防除日誌を記帳しましょう。

＊本製品は農業用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。　＊本印刷物は2024年12月11日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

取扱い

三井化学グループ
三井化学クロップ＆ライフソリューション株式会社
東京都中央区日本橋1-19-1日本橋ダイヤビルディング
ホームページ https://www.mc-croplifesolutions.com

agk.24.12-00　LXG1101F